

事業所名

にじいろLABO

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2026 年

3 月

9 日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの個性を未来へと繋ぐ架け橋となる。</li> <li>・専門性を活かし安心を届け社会に貢献する。</li> <li>・利他の心をもってお互いの信頼関係を築く。</li> </ul>				
支援方針	<p>子どもの楽しい、好きを尊重し、一人ひとりの特性にあった支援を行う。 好きな事、得意なことが伸ばせるように、曜日ごとカリキュラムを立てることで、お子さまにあった支援を提供できるよう努めています。 社会的自立ができるよう、日頃の支援や集団活動を通して生活スキルや社会スキルを獲得できるよう支援していきます。</p>				
営業時間	9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無 (あり) なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習習慣が身に着く。</li> <li>・ロッカーに自分の荷物をすべて片づけるなど、身辺整理をすることが出来る。</li> <li>・身だしなみの整え方。</li> <li>・ソーシャルスキルトレーニングを行い、社会的スキルの向上を図る。</li> </ul>			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印象の良い姿勢で、相手の話を聞くことができる。</li> <li>・正しい身体の使い方、力加減を身に着ける。</li> <li>・生活に必要な動作を一人でできるようになる。</li> <li>・LaQや工作などの制作活動を行い、イメージを豊かにしながら指先の巧緻性を高める。</li> </ul>			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者との適切な距離感を理解する。</li> <li>・時間感覚を身に着け、決められた時間を守ることができる。</li> <li>・空間、時間、数の概念など認知発達を促す環境設定(スケジュールや時間の視覚化)</li> <li>・プログラミングを行うことで、タイピング能力を高めながら想起トレーニングを行う。</li> </ul>			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困ったときには自発的に助けを求めることができる。</li> <li>・自分の気持ちや意思を伝えられるようになる。</li> <li>・挨拶や場面に合った言葉使い、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得</li> <li>・読み・書きに対する学習支援</li> <li>・コミュニケーション手段の活用(SST・発表する機会の提供・ロールプレイ)</li> </ul>			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小集団・集団での遊びやアナログゲームなどを通して人との関わり方や接し方を学ぶ。</li> <li>・課外活動などを通し、社会体験や地域交流の場を設ける。</li> <li>・自己理解、他者理解への支援(SST・社会体験・個別療育)。</li> </ul>			
家族支援	保護者の思いを尊重し、保護者に寄り添いながら困り事があった時には、児童発達支援管理責任者や心理士などについても相談できる環境を整え、利用者様の発達状況を相互に理解し合えるよう定期的に情報の共有を実施する。保護者様の就労確保の預りニーズに対応し、必要に応じて延長支援を実施。	移行支援	地域社会で生活する平等の権利の享受と、地域社会への参加・包容(インクルージョン)の考え方に立ち、ソーシャルスキル(社会に必要な力)などを身につけることで、日常生活の自立につなげていく。		
地域支援・地域連携	ご利用児童がスムーズな生活を送れるよう以下との連携や情報共有を図る。 ・相談支援事業所や障害福祉サービス事業所 ・学校や併用事業所との情報共有	職員の質の向上	外部講師を招いて、職員に対して力量向上の研修を行っている。		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント活動(課外活動・調理活動)・社会貢献活動(地域交流活動)・クリスマス会</li> <li>・保護者会</li> </ul>				